

—H27災 主要道道知床公園羅臼線道路災害関連事業③—

【概要】

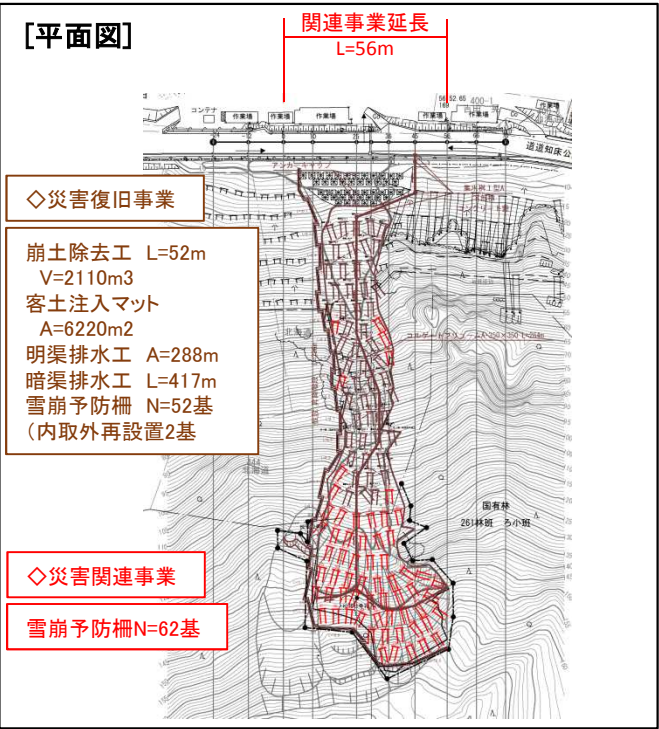
5月1日に融雪による被災を受けた本路線は知床半島先端部付近の相泊漁港を起点とし、羅臼町の市街地を結ぶ道路であり、当該地区には迂回路は無い。相泊漁港からの漁獲物の搬送にも不可欠な生活道路である。このたびの被災により地形が改変され冬期の雪崩発生が危惧される箇所を災害復旧の効果をもさらに高めるために雪崩予防柵を設置するものである。

【事業内容】

- 事業主体：ほっかいどう 北海道
- 事業箇所：ほっかいどうめなしぐんらうすちようあいどまり 北海道 目梨郡 羅臼町 相泊
- 路線名：しゅようどうどうしれとここうえんらうすせん 主要道道知床公園羅臼線
- 事業期間：平成27年度～平成28年度
- 事業費：241百万円(内関連費48百万円)
- 延長：L=56m



【平面図】

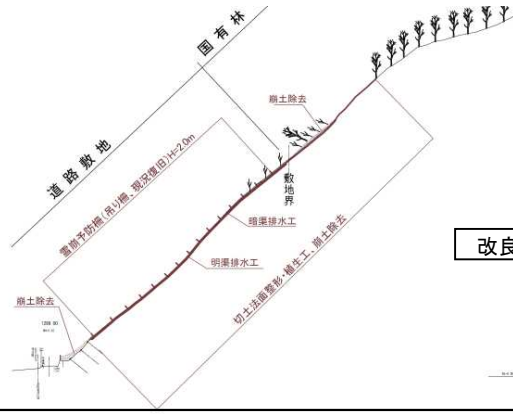


【被災写真】



【断面図】

親災



関連

